

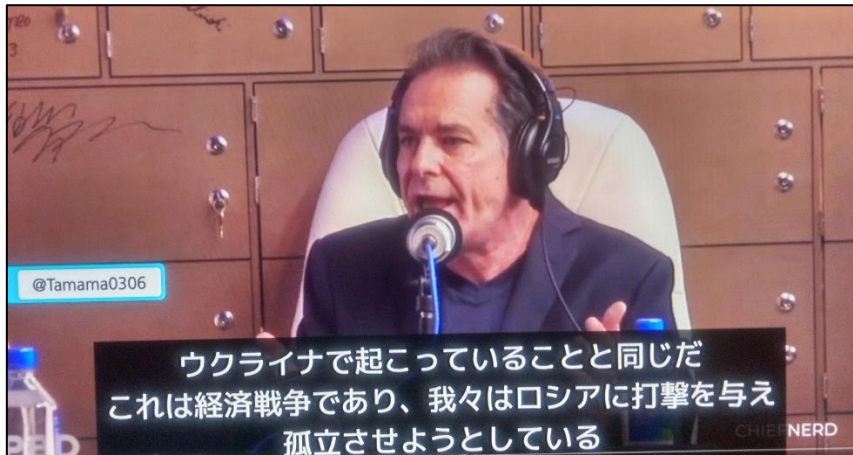
2月21日のウクライナ情報

安齋育郎

●オバマ政権がやった犯罪的な政治(ジミー・ドア、2023年2月20日)

- ・オバマが大統領時代にやっていた戦争犯罪について
- ・トランプは、なぜ連中から嫌われるのか？
- ・シリアに米軍がいる理由
- ・ディープステートについて
- ・ロシア・ウクライナ紛争について
- ・ノルドストリーム爆破事件について

<https://twitter.com/i/status/1627359794628808704>



●ジミー・ドア、FOX ニュースで言いたい放題(2023年2月1日)

- ・軍産が問題だろ、バイデンが指揮してるんじゃない
- ・USA は世界のテロリスト、過去 20 年の中東を見ろ
- ・そしてウクライナで挑発して代理戦争だ
- ・今度は敵は中国だとか言ってる。中国は敵じゃないだろ、経済戦争かもしれない、でも戦争の敵にすることない。

<https://twitter.com/DTJTakumi/status/1620702073477279746>

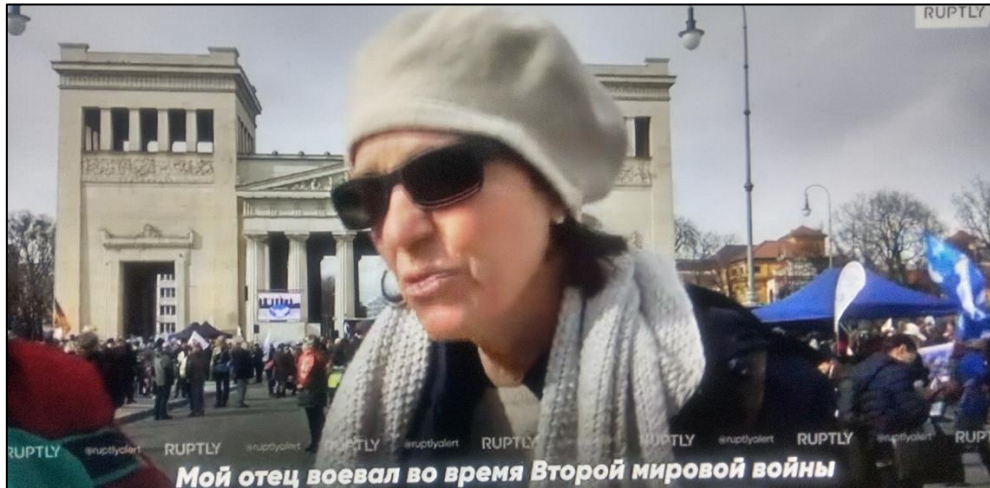


※安齋注:ジミー・ドアはアメリカのコメディアン、政治評論家、YouTube パーソナリティで、1989 年にイリノイ州でコメディアンとしてスタートし、2005 年以降、彼はパフォーマンスに政治的解説を含めるようになった。

●「私にとっての NATO」(2023年 2 月 20 日)

安全保障会議が開催されたミュンヘンでは、ウクライナへの武器の供給に抗議する集会が行われた。「私にとって NATO は自由のためでも平和のためでもなく、経済のため、米国が全世界のすべてを支配するためのものであり、NATO は戦争をするだけで、平和を維持していない」と抗議者の一人は述べた。

<https://twitter.com/i/status/1627543306988298240>



●「ロシア人を叩き切れ！」と謳うウクライナ市民(2023年2月20日)

図書館で行うイベント、ウクライナの合唱『ロシア人を刺し殺そう』
ひどい言葉を口に出して、楽しそうに歌う…悲しい！

<https://twitter.com/i/status/1627553061756608513>

※安齋注:字幕の英語歌詞に“Cut the Muscovites”と出てきますが、Muscovites は「モスクワっ子」「ロシア人」の意。「ロシア人を叩き切れ！」と謳って子どもとともに楽しむウクライナの人々。



●ウクライナの戦争犯罪(2023年2月19日)

ウクライナ人は、命令を実行することを拒否したり、逃げようとして捕まった自国の同志に対して模範処刑を行います！

<https://twitter.com/i/status/1626999619543769089>



●有本香「ドンバスのジェノサイドはデマ」と(2023年2月19日)

日本のマスコミは捏造しかしてません。相変わらずロシアRUが悪者です。

ある動画見て欲しいんですが、有本香さんとナザレンコがドンバスのジェノサイドはロシアのデマだと言ってます。これは余りにも酷いのでお知らせ致します。

<https://twitter.com/i/status/1627302215751987200>

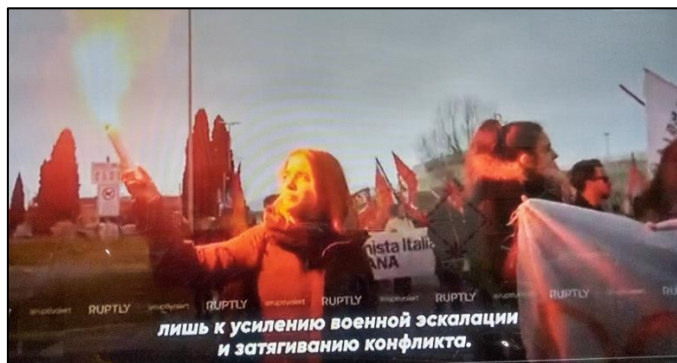


※有本香(ありもと かおり、1962 年-)は、日本のジャーナリスト、編集プロダクション代表。東京外国語大学出身。2012 年 10 月、内閣府死因究明等推進会議の委員に就任。

●イタリアのピサでウクライナへの武器供給に反対する集会(2023年2月20日)

参加者は「私達は、第三次世界大戦に引きずり込もうとする欧米諸国によるエスカレーションに反対しています。私達は戦争に勝つのではなく、戦争を止めるべきだと考えています」と語り、西側諸国に和平交渉を開始するよう訴えた。

<https://twitter.com/i/status/1627427414690390017>



●ウクライナの歴史修正運動？(2023年2月20日)

『非共産化』の一環として、ウクライナでは過去5年間に 52,000 件の地理的名称が変更されている。987 の居住地で改称が行われ、ソ連時代の記念碑 2,500 件が解体された。

※安齋注:言うまでもなく、現在のロシアは共産主義の国ではありません。



●サプライズキーウ訪問のバイデン(2023年2月20日)

月曜日のジョー・バイデン米国大統領は、ロシアのウクライナ侵攻1周年に先立ち、ウクライナへの武器配達の増加と揺るぎない支援を約束し、キーウにサプライズ旅行をしました。

バイデンが 24 年 2022 月<>日にロシア軍が侵攻して以来、米国大統領の同国への最初の訪問についてウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領と会ったとき、空襲サイレンが首都全体に鳴り響きました。

制服を着たウクライナ軍将校がすぐ外の通りに並んでいた。バイデンとゼレンスキーは歩いて、ロシアとウクライナの戦争の墮落した英雄のために一緒に追悼の壁に花輪を捧げ、軍の敬礼が演奏され、2 人の大統領はしばらくの間黙って見つめました。

バイデンは、ウクライナへの武器配達の増加を約束し、ウクライナの領土保全を守るためのワシントンの「揺るぎないコミットメント」を誓った。

「ウクライナの人々を空爆から守るために、砲弾、対装甲システム、航空監視レーダーなどの重要な装備の別の配達を発表します」と彼はホワイトハウスの声明で述べたと伝えられています。

ウクライナは、EU の防衛産業が現在生産できるよりも毎月数千発の砲弾を燃やしていると推定されています。

ゼレンスキーは、バイデンの訪問を支持の重要な兆候として歓迎した。

「ジョセフ・バイデン、キーウへようこそ!あなたの訪問は、すべてのウクライナ人にとって非常に重要な支援のしるしです」とゼレンスキーは英語でテレグラムで述べました。

この訪問は、中国がウクライナでの戦争を支援するためにロシアに武器を送ることを検討しているという米国の主張に北京が激しく反対したときに行われた。

「戦場に武器を際限なく輸送しているのは中国ではなく米国です」と中国外務省のスポークスマン、王文斌は米国の主張について尋ねられたときに言った。

「私たちは米国が自らの行動を真剣に反省し、状況を緩和し、平和と対話を促進し、責任転嫁と誤った情報の拡散を止めるためにさらに多くのことをするよう要請する」と彼は定期的なブリーフィングに語った。

EU の外交政策責任者ジョセップ・ボレルも、ウクライナでの戦争のためにロシアに武器を提供することに対して中国に警告し、「私たちにとって、それは私たちの関係のレッドラインになるだろう」と述べた。

－「最も緊急の問題」－

日曜日、アントニー・ブリンケン米務長官は、中国は現在、「弾薬から武器自体に至るまで」モスクワに「致命的な支援を提供することを検討している」と述べた。

欧州連合と米国は、モスクワが一年前に全面侵略を開始して以来、ウクライナにしっかりと味方し、キーウに数十億ユーロ相当の武器と財政援助を提供してきました。

北京がモスクワとの関係を深め、クレムリンの侵略を完全に非難することを拒否していることについて、広範な懸念がありました。

欧州連合はまた、キーウの戦いを支援するために切望されている弾薬の生産と配達をスピードアップしようとする計画を検討しています。

「私たちはできる限りのことをします」とボレルは言いました。「これは最も緊急の問題であり、私たちがそれが失敗した場合、戦争の結果は本当に危険にさらされます。」

週末のミュンヘン安全保障会議で、ボレルは、ロシアの侵略に反撃するウクライナの弾丸や同様の弾薬の供給が減少していることについて厳しい警告を発しました。

「ウクライナは弾薬が入手可能であるという観点から危機的な状況にあるため、ウクライナへの軍事支援を加速しましょう」とボレル氏は述べています。

「この弾薬不足はすぐに解決しなければなりません。それは数週間の問題です。」

土曜日、米国のカマラ・ハリス副大統領はミュンヘンで、ロシアはウクライナの民間人に対する「広範かつ体系的な」攻撃を通じてウクライナで「人道に対する罪」を犯したと述べた。

バイデンは火曜日にワルシャワで講演し、戦争の最初の年を迎えるウクライナ人が国を救うのを助けるための NATO の前例のない努力を称賛します。

同日、ウラジーミル・プーチン大統領は、ロシアの戦車がウクライナに転がり込んでから 24 月<>日から<>日後、モスクワで彼自身の演説を行う予定です。



※安齋注:米国は、バイデンのキエフ訪問を出発の数時間前にロシアに通知した、とホワイトハウスは述べている。空爆などしないでくれっていう暗黙の要請でしょうね。

※あるツイッターの投稿写真(2023年2月21日)



●バイデンのキエフ訪問の裏側(プラウダ、2023年2月21日)

by アレクサンドラ・コクネバ&バレンティン・アルフィモフ

バイデンのキエフ訪問はウクライナを支援することとは何の関係もなく、彼は彼自身の問題を解決しただけだと、政治研究所の所長であるセルゲイ・マルコフはラジオコムソモリスカヤプラウダとのインタビューで述べた。

-まず第一に、米国とバイデンはウクライナを実際にはサポートしておらず、ロシアに対する代理戦争のツールとしてそれを使用しているだけだと言わなければなりません。携帯電話を充電したり、お金をかけたりするときに、ガジェットをメインフレンドとしてサポートすることにしたと思いませんか?いいえ、あなたはそれをより効率的に使用するためにそれを助成します、と専門家は指摘します。

さらに、セルゲイ・マルコフによれば、バイデンのウクライナ訪問は彼女にとって悲劇的なニュースです。

-もちろん、ゼレンスキーには彼自身の能力範囲があります。彼は誰かを市長または知事に任命することができます。彼は文化大臣を任命することさえできると思います。しかし、ゼレンスキーには戦争と平和について重要な決定を下す機会がありません。ウクライナの陰謀の観点からのバイデンの訪問の主なポイントは、ウクライナの人々のこの虐殺を長引かせるために、ウクライナの住民が可能な限りロシア人を殺し、彼ら自身が死ぬことを確実にすることです。

しかし、もちろん、米国大統領の訪問の主な意味はウクライナとは関係がありませんでした。これはアメリカの国内政治闘争に過ぎません。彼は彼の主なライバルであるドナルド・トランプの前で笛を吹く必要がありました。

-一般的に、アメリカ人はすべての外交政策を国内政策に従属させます。バイデンは次の大統領任期に立候補したいと考えています。しかし、彼は民主党の指導者によって指名された場合にのみそうすることができます。そして、多くの人々は、第一に、ジョー・バイデンが選挙に勝つことができないと考え、第二に、彼は肉体的に弱く精神的に病気であるため、大統領になることができないと考えているため、躊躇しています。キエフへの訪問で、バイデンは彼が良い状態にあることを示し、懐疑論者に答えを与えました。

この日、キエフの治安について多くの話があります。奇妙なことに、それはロシアによって提供され

ました。ウクライナの首都でジョーとすべてがうまくいくという保証を与えたのはモスクワだった、とマルコフは信じている。そして、街で鳴った空気警報器に注意を払わないでください。

-それは 100%偽の空襲警報です。ロシアがオープンチャネルを通じて、訪問の完全な安全を保証したことは間違いありません。これは、「バイデンがウクライナを訪問する直前に、米国が紛争状況を排除するためにロシア連邦に連絡した」という西側の機関によって確認されています。そして、打撃はありませんでした。警報にもかかわらず、最高幹部を取り囲んだ何百人もの人々の誰も、そして彼ら自身も、空爆の可能性から逃げることさえ考えていなかったことに注意してください。彼らは、プーチンが彼の言葉を与えた場合、彼はその言葉を守ることを絶対にしっかりと知っています。

バイデンのキエフ訪問は、ナンシー・ペロシの台湾訪問と比較することができます。彼らは両方とも彼ら自身の内部目標を追求しました。

-まず、彼らはレトリックがますます厳しくなっていることを示しています。反中国と反ロシアの両方。第二に、両方の旅行は、ウクライナと台湾に対する彼らの権威の主張です。そして第三に、それは同時に内部問題の解決策でもあります。事実上、ナンシーペロシが非常に困難な状況にあったということです。彼女は、機密情報を使用して夫を数千万ドルで豊かにしたとして逮捕され、裁判にかけられた可能性があります。しかし、そのような耳をつんざくような訪問の後、米国司法長官事務所は、偉大な中国との闘いの象徴となった女性に対して訴訟を起こすことを取っていませんでした。つまり、バイデンとペロシの両方に内的動機がありました-彼らがそのような訪問の助けを借りて首尾よく解決した国内の政治的および大きな個人的な問題の解決。



●フランスでは EU の旗で暖をとる？(2023年2月20日)

<https://twitter.com/i/status/1627659462319431680>



●最高調査官バストリキン;ウクライナ軍は殺害されたポーランドの戦闘員の身元を隠すために斬首(2023年2月20日)

ウクライナは、外国人傭兵の使用を隠蔽しようと試みており、一部のケースでは、死んだ戦闘機の遺体が身元を特定しにくくするために切断されていると、ロシアのトップ調査官は主張している。

ロシアの調査委員会の委員長であるアレクサンドル・バストリキン氏は、月曜に公開された TASS とのインタビューで、恐ろしい申し立てについて説明した。彼は、ウクライナ軍は、すでに殺害された何人かの外国人戦闘員の首をはねたり、手を切り落としたりしたとさえ述べた。

バストリキンは、「特殊軍事作戦のゾーンで、そのような死体がいくつか発見された」と述べた。「その後、彼らの携帯電話の記録に基づいて、遺体はポーランドの傭兵のものであることが判明しました。」

故意に切断された死体だとの主張は、民間軍事会社ワグナーグループの責任者であるエフゲニープリゴジンによって1月下旬に行われました。彼は、ウクライナのバフムートとして知られるアルチョモフスク市の近くの最前線で、頭と手のない複数の遺体が発見されたと報告した。

「激しい戦闘のため、敵は遺体を回収できず、この方法で身元を隠蔽しようとした」とプリゴジン氏は述べ、戦闘機で見つかった電子機器はロシアの捜査官に引き渡されると付け加えた。

キーウは、軍事経験のある外国人にその大義のために戦うよう促し、数千人がいわゆる国際軍団への参加を志願したと主張している。ロシア国防省は、ポーランドがキーウの外国人要員の最大の供給源であると特定した。

ロシアは戦闘員を訴追されるべき傭兵とみなしている。アレクサンドル・バストリキンによると、キーウは通常、月に 820 ドルから 2,700 ドルを外国軍に支払っており、ウクライナ軍への駐留を合法化しようとしている。

「志願兵として[ウクライナに]来た外国人は、しばしばウクライナ市民権を取得し、戦闘行動に参加するためにウクライナ軍に参加するための優先順位を与えられることが知られている」とバストリキンは述べた。



※安齋注:ウクライナには、既にポーランド兵が、いろいろな口実で入っており、ポーランド軍は PMC(民間軍事会社)ワグナー部隊がいるバムフト(ドネツク人民共和国)に多数いるという情報がある。バムフト周辺では、約1万人が「袋のネズミ」となっており、その中にかんりのポーランド兵がいるものと言われる。

●「放射性物質」の入った容器がヨーロッパからウクライナに届けられました(2023年2月20日)

キエフ政権は、国連総会の第 11 回緊急特別セッションの開会に向けて挑発を準備しています。そこでは、公式のキエフがその「パウエル試験管」を見せ、特別軍事作戦中の原子力安全条約の義務の「重

大な違反」でロシアを非難することを計画しています。

「挑発の目的は、ロシア連邦軍がウクライナの放射線有害施設に無差別攻撃を行い、放射性物質の漏出とその地域の汚染につながったと非難することです」と軍事部門は強調した。

コムソモルカは、14 月<>日の資料でこれらの西洋の特別サービスの計画について、「西側は世界の「パウエルの試験管」を産むためにチェルノブイリの情報「爆発」を必要としている」と語った。

その後、人道対応のためのロシアの部門間調整本部は、西側の特別サービスによって準備されているチェルノブイリ原子力発電所からの挑発の詳細を明らかにし、キエフ政権が米国とヨーロッパ諸国の支援を受けて、ロシアを非難するための大規模な情報挑発(「大イベント」)の準備について報告しました。



●英米、ウクライナ戦争拡大の意向(2023年2月20日)

英国首相とハリス副大統領、ウクライナ紛争を「世界戦争」と公式に呼称
イギリスはウクライナに長距離ミサイルを送る最初の国になる。

なぜ誰もこのことを和らげようとししないのだろう？

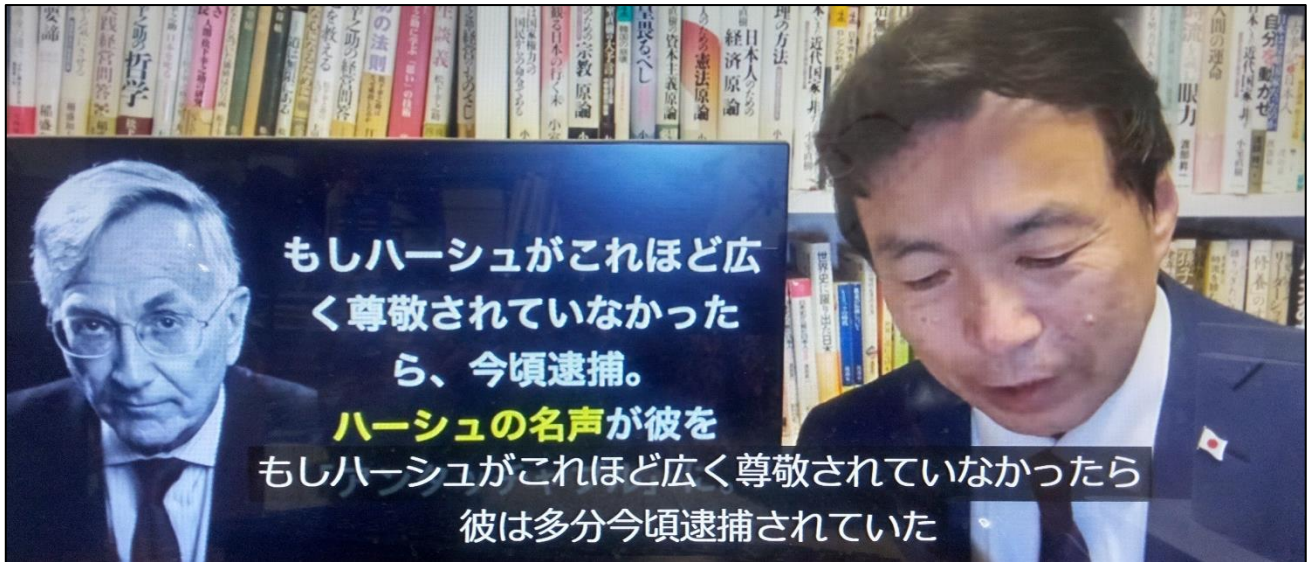
<https://twitter.com/i/status/1627642023359692800>



※ツイッターのコメント:アメリカとイギリスがこの局地的紛争を第三次世界大戦へと持ち込もうとしている客観的証拠。彼らは昨年3月のロシアウクライナの停戦協議に反対し戦争継続を決定づけた二カ国である。

●ノルドストリームがウクライナの原因(及川幸久、2023年2月20日)

<https://youtu.be/RO67FfGxfQc>



●上院議員の講演中に抗議する(2023年2月20日)

米上院議員の演説を妨害するデモ参加者:「中国は我々の敵ではない」

<https://youtu.be/BdfEjCe55FU>

